

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	体育	単位数	2単位	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	Active Sports (大修館)

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法						
			a	b	c								
4	体づくり運動	・心と体の関係に気づき、仲間と交流する。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・自己のねらいに応じて効果的な成果を得るための適切な運動の行い方を理解できる。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 	授業態度 学習カード						
	体育理論	・スポーツから得られる恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できる。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えること。 ・体育理論の学習に主体的に取り組もうとしている。 							
5	器械体操 陸上競技（競走・跳躍・投擲） ダンスから選択	<ul style="list-style-type: none"> ・（器械体操）技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動の観察、体力の高め方を理解する。 ・（陸上競技）記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につける。 ・（ダンス）感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊り方を身につけて交流や発表する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・（器械体操）回転系の接転技群、ほん転技群の基本的な技、巧技系の平均立ち技群の基本的な動きを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。 ・（陸上競技）技術と関連させた運動や練習を繰り返したり継続して行ったりすることで結果として体力を高めることができることを理解できる。 ・（ダンス）イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表を理解できる。 							
6						○				<ul style="list-style-type: none"> ・（器械体操）自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 ・（陸上競技）自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 ・（ダンス）作品の創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で合意形成するための関わり 			
7										○			<ul style="list-style-type: none"> ・（器械体操）自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 ・（陸上競技）自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 ・（ダンス）作品の創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で合意形成するための関わり
8													○

					方を見付け、仲間に伝えることができる。 ・(器械体操・陸上競技・ダンス) 自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にできる。	
9	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○		・スポーツの技術と技能及び変化について理解できる。 ・運動の概念と自己の状況を関連付けたりして自己や社会についての課題を発見し他者に伝えることができる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	
9 10 11 12	球技・武道から選択 球技(ゴール型・ネット型 ベースボール型) 武道(剣道・柔道)	・(球技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・(武道) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、得意技などを用いた攻防を展開する。	○		・(球技) 型や種類によって必要な体力要素がありその型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができる。 ・(武道) 伝統的な考え方は対戦相手は「道」を追及する大切な仲間であることを理解できる。 ・(球技) チームでの学習で状況に応じてチームや自己の役割を他者に伝えることができる。 ・(武道) 練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。 ・(球技) 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすることができる。 ・(武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとするすることができる。	授業態度 学習カード
12 1	陸上競技(長距離走)	・記録の向上や競争を通して得られる楽しさや喜びに加えて、体力や技能の程度等に関わらず「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わう。	○		・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じてストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 ・自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることができる。	
2	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○		・運動やスポーツを行う際は気象条件の変化など様々な危険を予見し回避することについて理解できる。 ・運動やスポーツの活動時の健康、安全の確保の仕方について習得した知識を基に環境の異なる場所や変化を想定して危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えることができる。 ・体育理論の学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 学習カード
2 3	体づくり運動	・健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画たて、取り組む。	○		・体力の構成要素は健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解することができる。 ・学習課題に応じて、これまでに学習した内容を学習場面に応用することができる。 ・一人一人の違いを大切にし、健康・安全を確保することができる。	